

リモートユニット制御装置 (CCL-PS2x2台)

占有局数：1局/台

リモート入出力「32点固定/台」

リモート→マスタ		マスタ→リモート	
デバイスNo.	信号名称	デバイスNo.	信号名称
RXn0	プロテクション解除(2台目未使用)	RYn0	出力ON/OFF(2台目未使用)
RXn1	HV ON(2台目未使用)	RYn1	出力極性反転(2台目未使用)
RXn2	BNC シェル接地(2台目未使用)	RYn2	プロテクション入力(2台目未使用)
RXn3	入力3(2台目未使用)	RYn3	出力3(2台目未使用)
RXn4	入力4(2台目未使用)	RYn4	未使用
RXn5	入力5(2台目未使用)	RYn5	未使用
RXn6	入力6(2台目未使用)	RYn6	未使用
RXn7	入力7(2台目未使用)	RYn7	未使用
RXn8	CH1 A/D変換完了フラグ	RYn8	D/A出力許可信号フラグ
RXn9	CH2 A/D変換完了フラグ	RYn9	未使用
RXnA	CH3 A/D変換完了フラグ	RYnA	未使用
RXnB	未使用	RYnB	未使用
RXnC	未使用	RYnC	未使用
RXnD	未使用	RYnD	未使用
RXnE	未使用	RYnE	未使用
RXnF	未使用	RYnF	未使用
RX(n+1)0	予約	RY(n+1)0	予約
RX(n+1)1	予約	RY(n+1)1	予約
RX(n+1)2	予約	RY(n+1)2	予約
RX(n+1)3	予約	RY(n+1)3	予約
RX(n+1)4	予約	RY(n+1)4	予約
RX(n+1)5	予約	RY(n+1)5	予約
RX(n+1)6	予約	RY(n+1)6	予約
RX(n+1)7	予約	RY(n+1)7	予約
RX(n+1)8	イニシャルデータ処理要求フラグ	RY(n+1)8	イニシャルデータ処理完了フラグ
RX(n+1)9	イニシャルデータ設定完了フラグ	RY(n+1)9	イニシャルデータ設定要求フラグ
RX(n+1)A	エラー状態フラグ	RY(n+1)A	エラーリセット要求フラグ
RX(n+1)B	リモートREADY	RY(n+1)B	未使用
RX(n+1)C	予約	RY(n+1)C	予約
RX(n+1)D	予約	RY(n+1)D	予約
RX(n+1)E	(予約：QnA)	RY(n+1)E	(予約：QnA)
RX(n+1)F	(予約：QnA)	RY(n+1)F	(予約：QnA)

n：局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

入出力信号詳細

デバイスNo.	信号名称	内容
RXn0～7	リモートユニット各状態フラグ	リモートユニットの各動作状態をモニタする。 RXn0:プロテクション解除で接点 ON (BNC 接地 ON と DC24Vin とプロテクション接点 ON で解除) RXn1:HVON で接点 ON RXn2:BNC シェル接地で接点 ON
RXn8～A	A/D変換完了フラグ	電源投入後、またはリセット後、各チャンネルのA/D変換が完了したときにONする。A/D変換完了フラグは、A/D変換許可・禁止設定を変更したときのみ1回処理する。 ・A/D変換禁止→許可にしたとき。 該当するCHのA/D変換完了フラグをONする。 ・A/D変換許可→禁止にしたとき。 該当するCHのA/D変換完了フラグをOFFする。
RX(n+1)8	イニシャルデータ処理要求フラグ	電源投入後、ハードウェアリセット後、機器がイニシャルデータの設定を要求するために、イニシャルデータ処理要求フラグをONする。 また、イニシャルデータ処理完了(イニシャル処理完了フラグRY(n+1)8 ON)後OFFする。
RX(n+1)9	イニシャルデータ設定完了フラグ	イニシャルデータ設定要求(RY(n+1)9 ON)があった場合、イニシャルデータ設定完了後ONする。 また、イニシャルデータ設定完了時、イニシャルデータ設定要求フラグがOFFすると、イニシャルデータ完了フラグもOFFする。
RX(n+1)A	エラー状態フラグ	機器が、ウォッチドグタイマエラー以外のエラー発生時に、ONする。
RX(n+1)B	リモートREADY	電源投入後、ハードウェアリセット後、またはテストモード操作後、イニシャルデータ設定を完了し、A/D変換許可した全CHの変換が完了したときにONする。 全チャンネルA/D変換禁止と、D/A出力禁止にした場合は、ONしない。 マスタユニットからの読み出し/書き込みのインタロックとして使用する。
RYn0～3	リモートユニット各設定フラグ	リモートユニットの各制御信号を設定する。 RYn0:接点ONで出力ON RYn1:接点ONで出力極性反転 RYn2:接点ONでプロテクション解除
RYn8	D/A出力許可信号フラグ	D/A出力許可信号で、ONさせると、D/A出力が許可状態となります。 D/A出力を禁止したい場合OFFにします。
RY(n+1)8	イニシャルデータ処理完了フラグ	電源投入後、ハードウェアリセット後、またはテストモード操作後の、イニシャルデータ処理要求時、イニシャルデータ処理完了後フラグをONする。
RY(n+1)9	イニシャルデータ設定要求フラグ	イニシャルデータ設定時、または変更時に、ONする。 (I/O、D/A、A/Dには、一切干渉しない。)
RY(n+1)A	エラーリセット要求フラグ	エラーリセット要求フラグをONすると、エラー状態フラグ(RX(n+1)A)がOFFするとともに、リモートレジスタのエラーコード(RW rn+4)をクリア(0000h)する。現在は、固定。

n：局番設定により、マスタユニットにつけられたアドレス

リモートレジスタ

マスター→リモート			リモート→マスター		
アドレス	内容	デフォルト	アドレス	内容	デフォルト
RWwm	D/A値設定(電圧)	0	RWrm	エラーコード	0
RWwm+1	D/A変換許可、禁止指定	0	RWrm+1	CH1 A/D値データ(電圧)	0
RWwm+2	A/D変換許可、禁止指定	0	RWrm+2	CH2 A/D値データ(電流)	0
RWwm+3	未使用	-	RWrm+3	CH3 A/D値データ(未使用)	0

m,n : 局番設定により、マスターユニットにつけられたアドレス

リモートレジスタ信号詳細

アドレス	信号名称	内容																
RWwm	D/A値設定	<ul style="list-style-type: none"> ・シーケンサCPUからのD/A変換を行うためのデジタル値を書き込む。 ・下記の場合は、デジタル値が”0”となる。 電源投入後、リモートREADYがONしたとき。 シーケンサCPUリセット後、リモートREADYがONしたとき。 ・設定できるデジタル値は、16ビットのバイナリ値で、デジタル分解能の設定可能範囲とする。 0~4095 (12Bit) 0~4000/0~1000V <p>b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td> </tr> </table> <p style="text-align:center;">無視 データ部12ビット</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
RWwm+1	D/A変換許可、禁止指定	<p>D/A出力値の外部への出力許可/禁止を設定する。</p> <p>b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td> </tr> </table> <p style="text-align:center;">無視 </p> <p style="text-align:right;">0:許可 1:禁止</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
RWwm+2	A/D変換許可、禁止指定	<p>各CHのA/D変換許可/禁止を設定する。</p> <p>b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td> </tr> </table> <p style="text-align:center;">無視 3 2 1 </p> <p style="text-align:right;">A/D CH 1:許可 0:禁止</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			
RWrm	エラーコード	<ul style="list-style-type: none"> ・エラーが発生したときに、エラーコードを格納する。 <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>エラーコード</td> <td>内容</td> </tr> <tr> <td>0000H</td> <td>エラーが発生しないため固定。</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・一度格納されたエラーコードは、設定値が設定可能範囲になってもリセットされない。 ・エラーコードのリセットには、RY(n+1)AをONさせる。 	エラーコード	内容	0000H	エラーが発生しないため固定。												
エラーコード	内容																	
0000H	エラーが発生しないため固定。																	
RWrm+1 ~ RWrm+3	A/D値データ	<ul style="list-style-type: none"> ・A/D変換されたデジタル値は、12ビットのバイナリ値で、表す。 -100~0~+100mA/400~2000~3600 -1000~0~+1000V/400~2000~3600 <p>b15 b14 b13 b12 b11 b10 b09 b08 b07 b06 b05 b04 b03 b02 b01 b00</p> <table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td><td>-</td> </tr> </table> <p style="text-align:center;">無視 データ部12ビット</p>	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-			

m,n : 局番設定により、マスターユニットにつけられたアドレス